



中部電力パワーグリッド

添付書類（2）



締付用銅管パイプの 一部使用中止について（お知らせ）

中部電力パワーグリッド（株）

01 概要



中部電力パワーグリッド

【概要】

過日、電線へ締付用銅管パイプ（以下、「銅管パイプ」という。）を取り付けしたPJコネクタ接続箇所において、PJコネクタが高温になりPJコネクタカバーが溶損する事象（以下、「本事象」という。）が発生いたしました。本事象を調査した結果、銅管パイプの硬度が規定より高いことにより、接触不良に至る可能性があることが判明したため、銅管パイプの取扱いについてお知らせいたします。

【対象品】

メーカー	エナジーサポート製
種類	14mm ² ～100mm ² ※1
銅管パイプの印字	黒字※2
確認箇所	エナジーサポート製（E）の印字あり）で黒字の銅管パイプ 

※1 125mm²については新規開発が2009年以降のため対象外となる。

※2 製造年が「2003年～2007年」の期間に製造されたものが対象となるが銅管パイプ表面へ製造年の記載がないため黒字の銅管パイプ全てを対象とする。

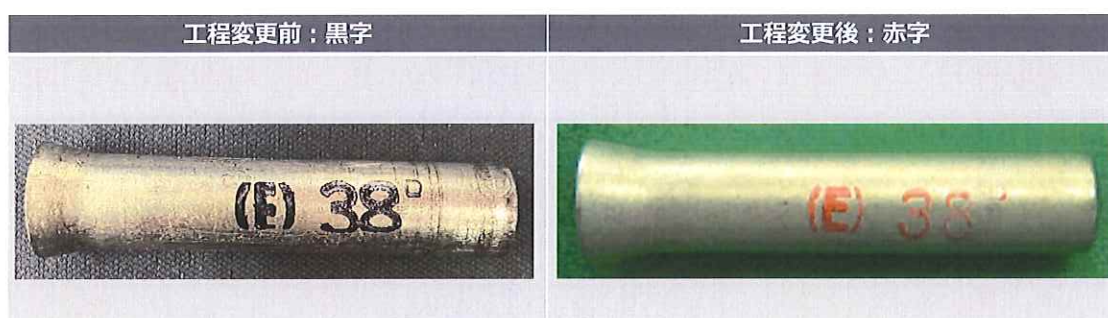
02 本事象の経緯



【調査結果】

2003年にメーカーにて銅管パイプの加工業者を変更した際に、焼鈍が行われず硬度が規定より高い銅管パイプ（以下、「未焼鈍品」という。）が納品された可能性があると判明したため、2007年に硬度を規定値以下とするため工程変更を実施し、銅管パイプの表面の印字を黒字から赤字へ変更しております。

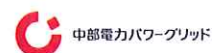
本事象におけるPJコネクタによる接続は2019年度に行われておりますが、黒字印字の銅管パイプが使用されており、現在も未焼鈍品が保管されている可能性があることが判明しました。



3

Copyright © Chubu Electric Power Grid Co., Inc. All rights reserved.

03 お願い



【実施方法と対象品の取扱い】

保有されている銅管パイプについて、対象品を確認した場合は使用中止をお願いいたします。
対象品の在庫がある場合、必要数量の交換対応を実施いたします。

【既設品に対する取扱い】

現場に施設されている銅管パイプについては、対象品の全てが硬度が高いわけではないことに加え、製造から既に20年程度経過しているが事象の発生が極めて稀であることから既設品に対する対応は不要です。

4

Copyright © Chubu Electric Power Grid Co., Inc. All rights reserved.